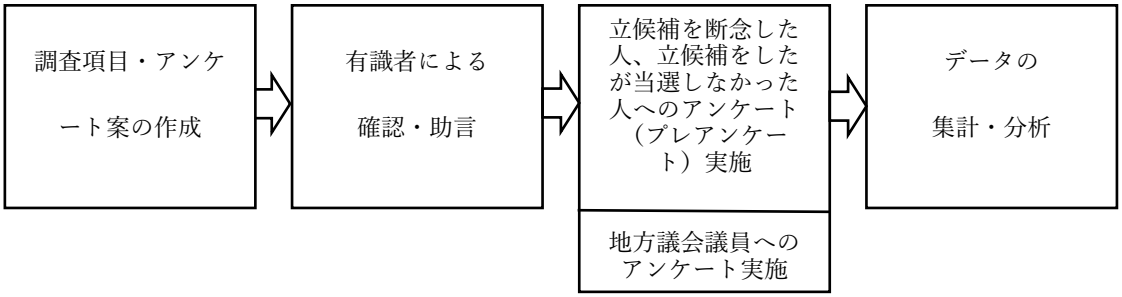
第 3 章　調査の内容

3.1　全体の工程、調査手順

本調査は令和 6 年 9 月から令和 7 年 3 月にかけて、図 3-1 の手順で実施した。アンケート案は立候補を断念した人、立候補をしたが当選しなかった人及び地方議会議員のそれぞれを対象とする 3 種類のアンケート案のほか、立候補を断念した人、立候補をしたが当選しなかった人を抽出するためのプレ調査用アンケート案も作成した。この 4 種類のアンケート案について、有識者より助言を得て、改訂し、アンケート案の確定を行った。その後、立候補を断念した人、立候補をしたが当選しなかった人及び地方議会議員へのアンケートを実施した。各調査の詳細については次頁以降に述べる。

図 3-1　調査手順



3.2　有識者による助言

本調査の方針、アンケート案、アンケート実施方法、データの集計・分析方法、報告書案について助言を得ることを目的とし、令和 6 年 10 月から令和 7 年 3 月にかけて有識者から意見を聴取した。有識者リストを表 3-2 に示す。

表 3-2　有識者一覧（敬称略）

	氏名（五十音順）	所属先、肩書
1	越　　直美	OnBoard 株式会社代表取締役 CEO、三浦法律事務所弁護士
2	三浦　まり	上智大学法学部教授

なお、報告書の作成等に当たって、以下の調査協力者から意見を聴取した。

大木　直子　椙山女学園大学人間関係学部准教授
全国都道府県議会議長会議事調査部
全国市議会議長会企画議事部
全国町村議会議長会議事調査部

3.3　立候補を断念した人に対するアンケート調査概要

（1）目的

女性の政治参画（特に立候補）への障壁としてどのような課題があるかや、その障壁を取り除くために有効と思われる取組等を明らかにすることを目的として、本アンケートを実施した。

（2）対象者

国政選挙や地方議会選挙、首長選挙に立候補しようと考え、何らかの行動を起こしたが、取りやめた人を対象とした。インターネットモニター会社に登録しているモニター599,757人にプレ調査を実施、上記に該当する対象者 1,000 人（うち男性 500 人、女性 500 人）を抽出した。

（3）実施時期

令和 6 年 11 月 19 日から令和 6 年 11 月 29 日まで。

（4）調査方法

インターネットモニター会社による配信。

（5）調査項目

アンケートの構成を表 3-3 に示す。

表 3-3　立候補を断念した人に対するアンケートの構成

Ⅰ.回答者自身について
Q1. 直近の立候補を断念した時点の年代
Q2. 直近の立候補を断念した時点の婚姻状況
Q3. 直近の立候補を断念した時点での同居しているこどもの有無と年齢
Q4. 直近の立候補を断念した時点の就業状況等

Q5. 直近の立候補を断念した時点の政党又は会派への所属

Ⅱ. 立候補を考えた背景、動機等について
Q6. 直近で立候補を考えた選挙
Q7. 初めて立候補を検討した時期
Q8. 初めて立候補を検討したきっかけ又は後押しになったもの
　Q8-1. 誰からの要請を受けたか
　Q8-2. 立候補を検討したきっかけ又は後押しになった勉強会や講演会、イベント等

Ⅲ. 立候補に際しての状況、障壁等について
Q9. 選挙への立候補を断念した時期
Q10. 立候補を断念した理由とその程度
　Q10-1. 立候補を断念した時点で、最も不足していた専門性や経験
　Q10-2. 家族の誰からの理解やサポートが得られなかったか
Q11. 立候補を検討しているとき又は立候補準備の間に抱えていた不安や悩み
Q12. 立候補を検討しているとき又は立候補準備中等の日常的な政治活動と家庭生活との両立を行う上での課題
　Q12-1. 両立における課題や不安、悩み
Q13. 立候補を検討しているとき又は立候補準備中に、ハラスメントを受けたことはあるか
　Q13-1. ハラスメントの内容
Q14. 有権者、支援者、他の候補者等からのハラスメントをなくすために有効だと思う議会又は選挙管理委員会の取組
Q15. 有権者、支援者、他の候補者等からのハラスメントをなくすために有効だと思う政党・会派の取組

Ⅳ.女性の政治参画について
Q16. 女性の政治家を増やすために有効又は必要だと思う取組等

3.4　立候補をしたが当選しなかった人に対するアンケート調査概要

（1）目的

女性の政治参画（特に当選）への障壁としてどのような課題があるかや、その障壁を取り除くために有効と思われる取組等を明らかにすることを目的として、本アンケートを実施した。

（2）対象者

国政選挙や地方議会選挙、首長選挙に立候補したが当選しなかった人を対象とした。インターネットモニター会社に登録しているモニター599,757 人にプレ調査を実施し、上記に該当する対象者 98 人（うち男性 57 人、女性 41 人）を抽出した。

（3）実施時期

令和 6 年 11 月 19 日から令和 6 年 11 月 29 日まで。

（4）調査方法

インターネットモニター会社による配信。

（5）調査項目

アンケートの構成を表 3-4 に示す。

表 3-4　立候補をしたが当選しなかった人に対するアンケートの構成

Ⅰ.回答者自身について
Q1. 直近の立候補した時点の年代
Q2. 直近の立候補した時点の婚姻状況
Q3. 直近の立候補した時点での同居しているこどもの有無と年齢
Q4. 直近の立候補した時点の就業状況等
Q5. 直近の立候補した時点の政党又は会派への所属
Ⅱ. 立候補時の状況、障壁等について
Q6. 直近で立候補した選挙
Q7. 初めて立候補を決断した時期
Q8. 初めて立候補を決断したきっかけ又は後押しになったもの
Q8-1. 誰からの要請を受けたか
Q8-2. 立候補を検討したきっかけ又は後押しになった勉強会や講演会、イベント等
Q9. 立候補を決断してから投開票が行われるまでの課題とその程度

Q9-1. 立候補を決断してから投開票までの間に最も不足していた専門性や経験
Q9-2. 家族の誰からの理解やサポートが得られなかったか
Q10. 直近の選挙で、立候補を決断してから投開票までの間に抱えていた不安や悩み
Q11. 選挙運動や日常的な政治活動と家庭生活との両立を行う上での課題
Q11-1. 両立における課題や不安、悩み
Q12. 選挙運動や日常的な政治活動において、ハラスメントを受けたことはあるか
Q12-1. ハラスメントの内容
Q13. 有権者、支援者、他の候補者等からのハラスメントをなくすために有効だと思う議会又は選挙管理委員会の取組
Q14. 有権者、支援者、他の候補者等からのハラスメントをなくすために有効だと思う政党・会派の取組
Q15. 今後の国政選挙又は地方選挙の立候補予定
Q15-1. 選挙への「立候補をしない」又は「検討中・分からない」の理由とその程度

Ⅲ.女性の政治参画について
Q16. 女性の政治家を増やすために有効又は必要だと思う取組等

3.5　地方議会議員に対するアンケート調査概要

（1）目的

女性の政治参画への障壁としてどのような課題があるかや、その障壁を取り除くために有効と思われる取組、女性が政治参画することによる影響等を明らかにすることを目的として、本アンケートを実施した。

（2）対象者

令和 6 年 11 月 11 日時点における全国の地方議会議員を対象とした。

地方議会議員 5,075 人（うち男性 3,859 人、女性 1,213 人、不明 3 人）から調査への回答を得た。

（3）実施時期

令和 6 年 11 月 12 日から令和 6 年 12 月 27 日まで。

（4）調査方法

・委託事業事務局である株式会社矢野経済研究所より各議会事務局あて調査資料一式（各議会事務局宛の依頼状、各地方議会議員宛の依頼状、配付用地方議会議員調査票及びインタ

ーネット上のアンケートフォーム回答手順）をメール送信し、各議会事務局を通じて所属議員に調査資料一式を配布いただいた。

・議員は、依頼状に記載の URL 又は QR コードから調査専用サイトにアクセスし、インターネット上のアンケートフォームにより回答。
（インターネット上のアンケートフォームによる回答が難しい場合には、電子ファイルの様式に直接記入又は印刷した様式に手書き回答。回答済みの調査票は、メール・FAX・郵便により、株式会社矢野経済研究所へ送付いただいた。）

（5）調査項目
アンケートの構成を表 3-5 に示す。

表 3-5　地方議会議員に対するアンケートの構成

Ⅰ. 回答者自身について
Q1. 性別
Q2. 年代
Q3. 婚姻状況
Q4. 同居しているこどもの有無と年齢
Q5. 議員に当選する直前の就業状況等
Q6. 所属議会
Q7. 所属議会における女性議員の割合
Q8. 議員キャリア
Q9. 政党又は会派への所属

Ⅱ.立候補時から当選後の議員活動中の状況、課題等について
Q10. 立候補を決断した時期
Q11. 立候補を決断したきっかけ又は後押しになったもの
　Q11-1. 誰からの要請を受けたか
　Q11-2. 立候補を検討したきっかけ又は後押しになった勉強会や講演会、イベント等
Q12. 立候補を決断してから当選するまでの間の課題とその程度
　Q12-1. 議員になるに当たって、最も不足していた専門性や経験
Q13. 立候補を決断してから当選するまでの間の不安や悩み
Q14. 議員活動を行う上での課題とその程度
　Q14-1. 家族の誰からの理解やサポートが得られなかったか
Q15. 選挙運動や議員活動、日常的な政治活動と家庭生活との両立を行う上での課題

Q15-1. 両立における課題や不安、悩み

Q15-2. 議員活動や日常的な政治活動と家庭生活の両立における支障とその程度

Q16. 選挙運動や議員活動、日常的な政治活動において、ハラスメントを受けたことはあるか

Q16-1. ハラスメントの内容

Q17. 有権者、支援者、議員等からのハラスメントをなくすために、有効だと思う議会又は選挙管理委員会での取組

Q18. 有権者、支援者、議員等からのハラスメントをなくすために、有効だと思う政党・会派での取組

Q19. 今後の立候補予定（続投の意思の有無）

Q19-1. 選挙への「立候補をしない」又は「検討中・分からない」の理由とその程度

Ⅲ.女性の政治参画について

Q20. 女性の政治家を増やすために有効又は必要だと思う取組等

Q21. 女性議員の存在による所属議会への影響

Q21-1.女性議員の存在によってもたらされた所属議会における良い変化